

令和 8 年度 東大阪市 LINE アンケート

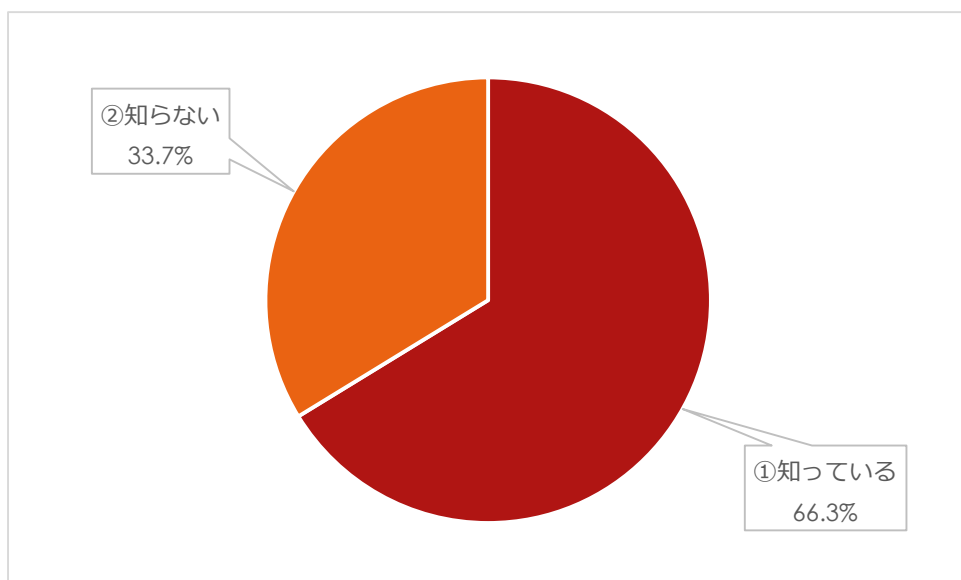
令和 8 年 5 月 22～5 月 29 日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「残骨灰の取扱いに関するアンケート」を実施しました。

目的

残骨灰の取扱いに対する考え方を把握するためのアンケート。

対象者	有効回答数
東大阪市 LINE 公式アカウントの友だちの内、東大阪市在住で登録されている方	1,701 人

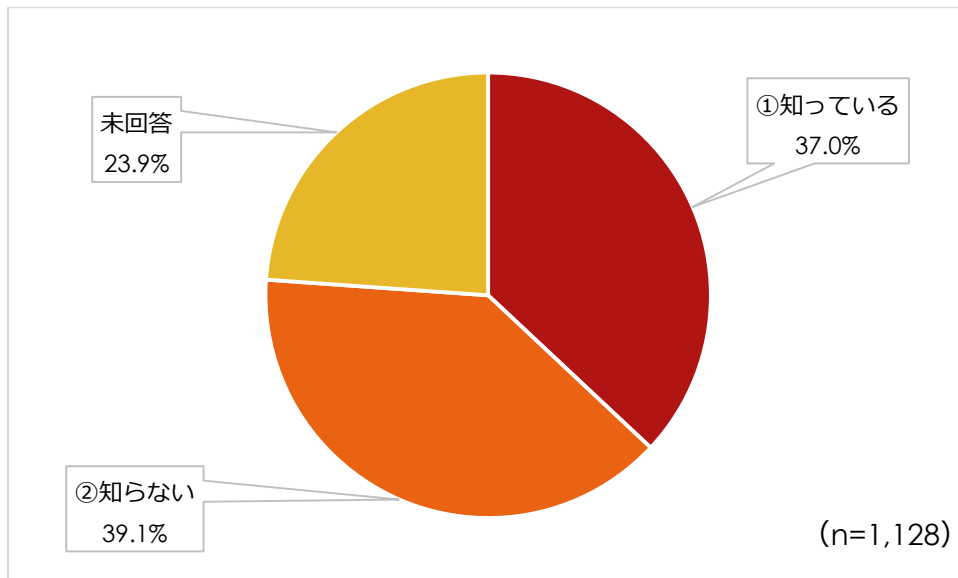
問 1. 残骨灰について知っていますか。



「①知っている」と回答された方が 66.3%という結果になりました。

問 2. 問 1 で「①知っている」と回答された方に質問です。

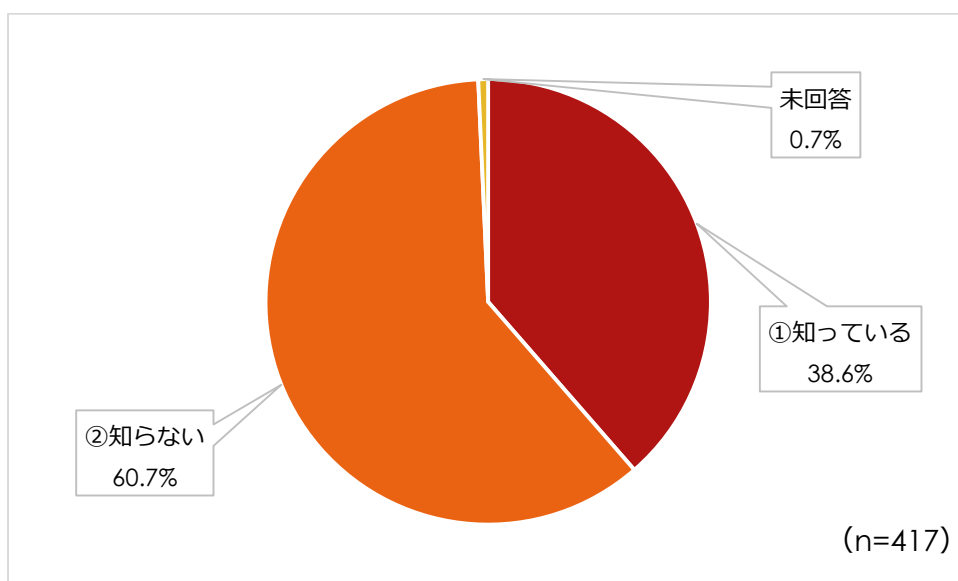
残骨灰に金・銀・パラジウム等の有価物が含まれている場合があることを知っていますか。



残骨灰について知っている方のうち、残骨灰に有価物が含まれている場合があることを「①知っている」、「②知らない」と回答された方がほぼ同割合という結果になりました。

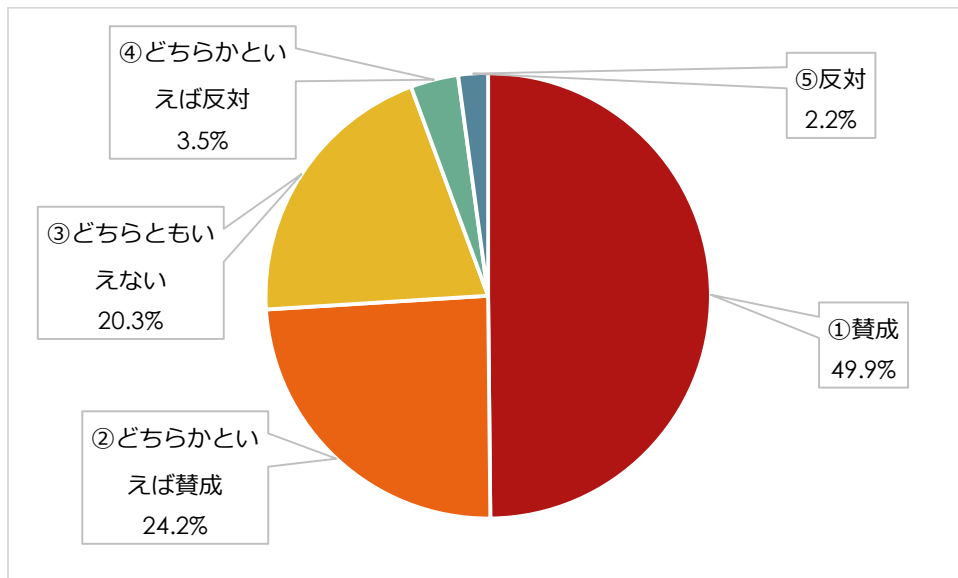
問 3. 問 2 で「①知っている」と回答された方に質問です。

有価物の売却による収入を火葬場の施設整備や運営経費に充てている自治体があることを知っていますか。



残骨灰に有価物が含まれている場合があることについて知っている方のうち、売却収入の使い道についても「①知っている」と回答された方は 38.6%にとどまりました。

問 4. 自治体が有価物の売却による収入を火葬場の施設整備や運営経費に充てることについてどう思いますか。



自治体が有価物の売却による収入を火葬場の施設整備や運営経費に充てることに関して、「①賛成」と「②どちらかといえば賛成」との合計が 74.1%、「④どちらかといえば反対」と「⑤反対」との合計が 5.7%という結果になりました。

問 5. 問 4 で「①賛成」または「②どちらかといえば賛成」と回答された方に質問です。

回答された理由を教えてください。

【主なご意見(抜粋・要約)】

- ・施設の維持管理に必要なのであれば市民のためになるから。
- ・有効な資源は活用すべきだと思う。
- ・正しく使ってもらえるのであれば問題ないと思う。
- ・世の中の役に立てるのであれば故人にとってもいいことだと思う。
- ・経費に充てて少しでも良い施設にしてほしいから。
- ・使用料が安くなることに期待したい。
- ・設備投資によって火葬待ちの縮減につながればよいと思う。

問 6. 問 4 で「④どちらかといえば反対」または「⑤反対」と回答された方に質問です。

回答された理由を教えてください。

【主なご意見(抜粋・要約)】

- ・故人の物であり遺族の物であるため返却すべきでは。
- ・故人の尊厳を踏みにじる行為だと思います。
- ・遺族としては故人の一部が市場で売却されるということに抵抗を感じます。
- ・使用料を取っているのであればその範囲でまかなうべき。
- ・火葬場のためではなく、市全体のために使用すべきでは。

問 7. 自治体が有価物を売却する場合、どのような配慮が必要だと思いますか。

【主なご意見(抜粋・要約)】

- ・遺族への配慮と丁寧な説明。
- ・遺族の同意を得ること。
- ・不正が絶対に起こらない仕組みづくり。
- ・売却業者の選定を公正に行ってほしい。
- ・収支報告とその透明性の確保。
- ・活用されたことが分かるようにしてほしい。
- ・きちんと供養をしてほしい。
- ・個人情報の保護。
- ・広報媒体での周知。
- ・配慮は必要ない。

※集計結果は、小数第 2 位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。

※複数の回答を依頼した質問では、比率の合計が100%を越える場合があります。

※図中の(n =)は有効回答数を示しています。